

農業経済学総合演習（8単位）

担当者氏名 農業経済学専攻指導教授

◆学習・教育目標（到達目標を記載）

本演習は、農業経済学専攻に在籍する博士前期課程の大学院生を対象に、全教員の前で各自の研究成果を発表し、幅広い視点から研究方法、分析手法、問題点などを確認・修得する演習である。同時に他の院生の発表を聴講し、学術的討論を行うことも課題とする。博士前期課程の学生は1年次後期から数回にわたる発表が義務づけられている。本演習の到達目標は、多様な手法、視点等にたった実践的な研究の進め方を身につけることである。加えて、発表を通じて、研究レジュメの作成方法やプレゼンテーション法を習得することも目標とされる。

◆取り扱う領域（キーワードで記載）

農業経済学

食料経済学

環境経済学

農業政策論

国際農業・貿易論

フードビジネス論

農業史・農村社会学

地域経済論

◆授業の進行等について

	テーマ	内 容	準備学習(予習復習)等の内容と分量
1～7	1年次 第一回総合演習	・研究課題の設定と先行研究の整理、研究計画の立案について理解し、実践することを目標に学習する。同時に他学年の発表を聞くことで、学術報告の意義について学ぶ。	◎指導教員による個別の授業のほか、全院生及び教員の出席の下、研究成果を発表し幅広い手法、視点等からの課題を学ぶ。
8～15	第二回総合演習		
16～23	第三回総合演習		
24～30	第四回総合演習		
31～38	2年次 第一回総合演習	・調査研究の実施とデータ分析および研究の体系的な取りまとめ方について理解し、実践することを目標に学習する。後期課程の院生を含む他学年の発表を聞くことで、学術報告における質疑の方法についても学ぶ。	◎発表毎に、各自で研究レジュメA4判8ページを用意するとともに、発表用スライドを準備することが必要である。
39～45	第二回総合演習		
46～53	第三回総合演習		
54～60	第四回総合演習		

◆教科書及び資料（授業前に読んでおくべき本・資料）

書名／著者／発行所（発行年）

各自で事前に研究用レジュメを準備するとともに、発表用スライド（場合によってはポスター）を準備する。

◆授業をより良く理解するために便利な参考書・資料等

書名／著者／発行所（発行年）

食と農の現段階と展望/東京農業大学農業経済学会編/東京農大出版会/(2004)

◆評価の方法（レポート・小テスト・試験・課題等のウェイト）

年4回の集中、2年間の報告と討議にもとづき評価する。

◆オフィスアワー

各指導教授のオフィスアワーを参照されたい。

◆その他受講上の注意事項

各自の研究対象と異なる研究対象の発表でも、幅広い視野及び手法を学ぶために、課題と問題意識等をもって参加することが必要である。